

# 輸入粗飼料の情勢

全 酪 連  
購買生産指導部  
購買推進課

## 北米コンテナ船情勢

北米西海岸航路は乗継航路を含めて主要な本船スケジュールの乱れが続いており、遅延が発生しています。世界的な物流状況の悪化に加え、中南米から日本向けの航路では遅れを取り戻すために、ブランクセーリング（抜港）が増加しており、日本で降ろされる予定の貨物が、アジア地域の中継地である釜山港に多く運ばれています。この影響で釜山港の貨物量は増加しています。日本の一部の港は釜山港を経由し寄港するケースが多いため、更なる遅延が懸念されています。

カナダでは8月22日に鉄道労働組合（TCRC：Teamsters Canada Rail Conference）とカナディアン・ナショナル鉄道（CN）および、カナダ太平洋カンザスシティ・サザン鉄道（CPKC）の間で労使交渉が決裂したことからロックアウト（施設や敷地から労働者を退出させる交渉手段）が発表され、貨物の輸送が停止されました。これを受け政府機関は労働基準監督機関に対して仲裁裁定の実施を行い、ロックアウトは解除となり、カナディアン・ナショナル鉄道（CN）は8月23日より、カナダ太平洋カンザスシティ・サザン鉄道（CPKC）は8月26日より運行再開となりました。短期間のロックアウトとなりましたが、労使交渉の行方は不透明のままとなっているため、今後の状況には注視が必要です。

## ビートパルプ

【米国】

米国内の各産地では24年産の製造が開始されています。主産地のミシガン州では、生育期には理想的な天候に恵まれたため、例年以上の収量が見込まれていますが、ミネソタ州やアイオワ州の一部の地域では例年並み～例年以下と予想されています。

米国内では飼料価格の軟化や搾乳頭数の減少もあり、乳製品価格が上昇傾向となっているため輸出向けに比べ相場は堅調に推移しています。

## アルファルファ

ワシントン州

主産地であるワシントン州コロンビアベースンでは、3番刈の収穫作業が終盤を迎

えており、早い圃場では4番刈の収穫作業が開始されています。収穫された3番刈は夏場の気温上昇や、コロンビアベースン北西部近辺で山火事が発生し煙が流入した影響で乾燥に時間が掛かったため、一部では色褪せた過乾燥気味の品質が発生しています。

依然として、日本や中国の需要減退や産地相場の低迷により輸出業者は積極的な買付を行っておらず停滞しており、1～3番刈の現地在庫も積みあがっています。

## オレゴン州

主産地であるオレゴン州クラマスフォールズでは、2番刈の収穫作業が終了しており、3番刈の収穫作業が中盤を迎えています。例年より収穫の進捗が早いことから多くの生産農家では4番刈まで収穫できる見込みです。7月中下旬に気温が上昇したため、1番刈と比較すると成分は低下したものの、収穫時期を通して天候に恵まれたこともあり2番刈の品質は上級品が中心となっています。

米国内酪農家は近隣州含めて引き続き成分値が高い品質を買付していますが、成分値の低下を受け産地相場はやや軟調に推移しています。



(24年産2番刈オレゴン産アルファルファ 8月中旬撮影)

## カリフォルニア州

カリフォルニア州南部インペリアルバレーでは現在6番刈の収穫中で、圃場によっては7番刈の収穫が開始されています。産地では高温多湿な気候となっており、成分値は低く、茎細で色褪せたサマーハイ中心の発生となっています。

インペリアルバレー灌漑局の発表によると、8月15日時点でのアルファルファの作付面積は135,219エーカー（前年同期は136,028エーカー）と前年同期比99%と減少しています。

## ネバダ州

ネバダ州北部では3番刈の収穫作業が終盤を迎えており、9月上旬から4番刈の収穫作業が開始されています。生産農家は少しでも多くの利益を確保するために早刈りを行い、良品の生産に努めたことに加え、好天が味方したこともあり収穫された多くは上級品となっています。中国向けの出荷は需要が鈍化したことにより、輸出業者も積極的な買付を行っておらず産地相場は軟化しています。

## 米国産チモシー

主産地であるワシントン州コロンビアベースンおよびエレンズバーグでは2番刈の収穫作業が開始されています。エレンズバーグ山間部の貯水池の水不足により農業用水への取水制限が予定されていましたが、開始が8月下旬に延期になったことから2番刈生産への影響は少なく当初の予測よりも生産量は増加する見込みです。

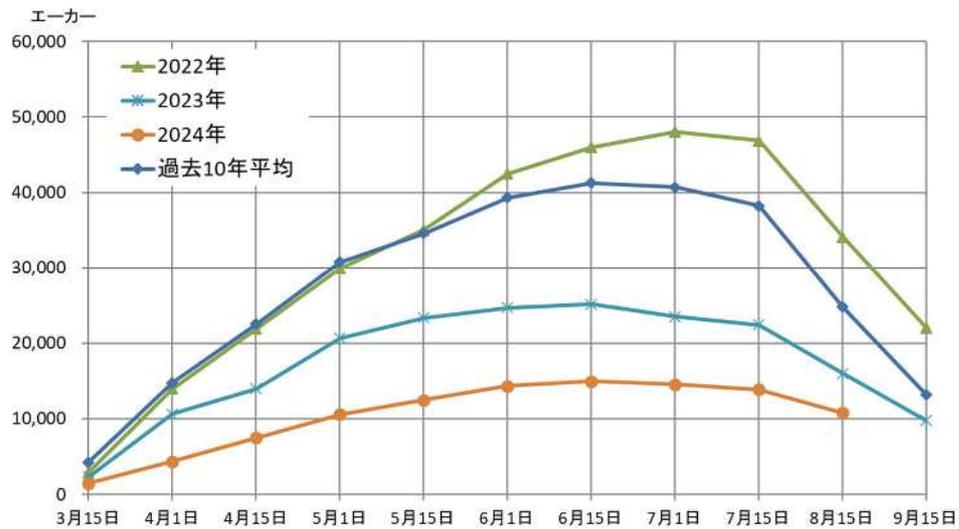
1番刈では上級品の発生が中心となったことで米国内の馬糧向け需要が旺盛となり、産地相場は堅調に推移しています。輸出業者は2番刈からの中～低級品の発生に期待していることから、現在は必要な分のみ買付を進めている状況です。

## スーダングラス

主産地であるカリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、2番刈の収穫が最終盤を迎えています。産地相場低迷により大半の生産農家は1番刈で生産を終了しています。24年産の作付面積減少に加え、2番刈に進んだ生産者が少ない影響で、夏場に多く発生する茎が太い低級品は限定的となる見通しです。

23年産の在庫に加え、未だに22年産の旧穀在庫を抱えている輸出業者もいるため作付面積の減少による供給力に懸念はありませんが、今後の相場次第では今期の生産量と繰り越し在庫より需要が上回ることも考えられるため注視が必要です。

灌漑局の発表によると、8月15日時点の作付面積は10,814エーカー（前年同期は16,022エーカー）となっており、前年同期比67%と、低水準での推移が続いています。



インペリアルバレー スーダングラス作付面積推移（単位：エーカー）

## DIP（Deficit Irrigation Program）について（休耕地政策）

8月12日にインペリアルバレー灌漑局の理事会にてDIP実施の承認がおりました。翌日13日より開始となり多くの生産者がプログラムに参加しています。

DIPは2026年度までの3年間実施されるため、生産者はDIP開始直前（夏前までの収穫）まで採算が取れる範囲で牧草の生産を行い、夏場はDIPに参加するという循環が出来ることで、来年以降アルファルファ/クレイン/バミューダの生産量は減少すると予想されています。

## クレイングラス（クレインは全酪連の登録商標です）

主産地であるカリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、23年産の相場低迷により生産の判断を待った上で作付を開始した圃場では2～3週間収穫作業が遅れて開始しました。そのため、作付が遅れた圃場では現在3番～4番刈、早い圃場では5番刈の収穫が開始されています。一方でDIPに参加した生産者が多いため24年産での総生産量は昨年と比較して減少する見通しです。産地では湿度や気温が高い日が続いているため、茎が固めで色褪せた品質も発生しています。

韓国では日本向けに適さない中低級品の引き合いが続いており、今後も堅調に需要が推移すると作付面積減少もあり価格高騰に繋がる恐れもあるため注視が必要です。

灌漑局の発表によると、8月15日時点の作付面積は21,067エーカー（前年同期21,996エーカー）となっており、前年同期比96%とやや減少しています。

## バミューダ

主産地であるカリフォルニア州インペリアルバレーでは現在バミューダハイの3番

刈の収穫が最終盤を迎えています。米国内の馬糧向け需要や種子の相場も堅調なため、生産は続いています。多くの生産農家は休耕地政策に参加することで得られる補助金の方が牧草や種子生産より収益性が高いため、DIPに参加しています。

灌漑局の発表によると、8月15日時点の作付面積は71,426エーカー（前年同期：66,693エーカー）、前年比107%となっています。

## カナダ産チモシー

主産地であるアルバータ州南部レスブリッジ地区では、1番刈の収穫が終了し、2番刈の収穫が開始されています。収量は昨年並みで、収穫期の天候に恵まれたことから上～中級品が中心で、低級品の発生は限定的となりましたが、カナダ国内に出荷される見込みです。

同州中部のクレモナ地区では、例年と比較して1週間程度生育が遅れていましたが、8月上旬に1番刈の収穫作業は終了しました。乾燥した日が多かったものの生育期間中の降雨や高湿度な気候もあったことから、収穫された品質は中級品が中心となっています。

## 豪州産オーツハイ・ウィートストロー

西豪州では7～8月を通して降雨に恵まれましたが、東豪州、南豪州の一部の地域では降水量が昨年より少なく、収量の減少が懸念されています。豪州では季節が春に向かっていくことから気温も上昇しており、牧草の生育が進むことが見込まれています。降雨が少なく、乾燥も続いているため、豪州内の放牧用の牧草も限定的になるため、国内酪農家からの引き合いは堅調に推移しています。生産農家も輸出向けより豪州国内に販売する方が収益を得ることが出来ることから23年産の繰り越し在庫は秋頃には無くなると予想されています。

豪州海運情勢については紅海問題やアジア地域の積替港に残留している大量のコンテナの影響により、引き続きスケジュールの乱れが続いています。

西豪州のフリーマントル港では豪州船員労組（AMOU）に所属するパイロットボート（水先船）とVTS（船舶通航支援業務）職員で数ヶ月におよぶ賃金交渉が決裂したことで8月18日に時限ストライキが行われましたが、港湾局が港関係者と協力し対策を実施したため荷役作業への影響は僅かなもので済んだ模様です。25日には、2回目の時限ストライキを実施予定でしたが、労使交渉により撤回となりました。このような港湾労使の動きと悪天候も重っており貨物の滞留や混雑が続くことが予想されています。

以上